

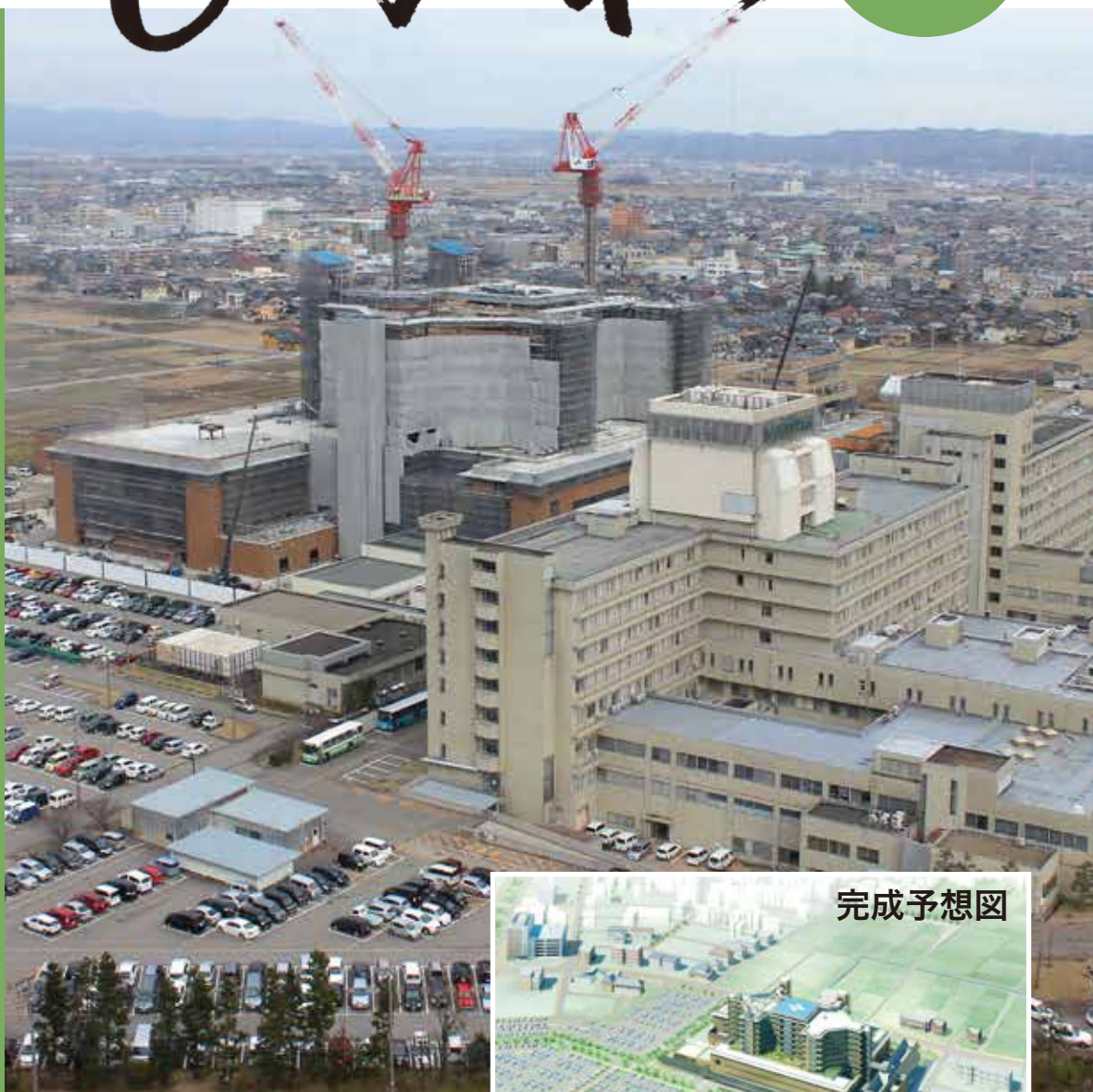
県議会だより いしかわ

第20号

2018年1月初旬の 開院に向け 新石川県立中央病院の 建設工事が着々

本県の基幹病院である県立中央病院は、より高度な専門医療などを提供するため、2018年1月初旬の開院を目指し、建替工事が進められています。建設地は、現県立中央病院(金沢市鞍月)の敷地北側で、地上10階建ての本棟と地上2階建てのエネルギーセンター棟を整備する計画です。

新病院では、救急医療や周産期医療、がん医療などの最新治療を実施するほか、ドクターヘリの導入も予定されています。県議会では今後も、県民の生活環境の向上を目指し、県立中央病院をはじめ、さまざまな医療・福祉体制の充実に向けた議論を積極的に展開していきます。



完成予想図



今号の
トピックス

- 県議会ダイジェスト Vol.2
県民の声を県政に届けよう!

- 特別委員会 2016年度活動レポート

来院者用駐車場も広くなり、利便性も向上します
(611台→900台)

県議会ダイジェスト

Vol.2

県民の声を県政に届けよう!

年4回の定例会や毎月開催される常任委員会などで意見を述べたり、質疑を行うことで県民の皆さんの思いを県政に届け、さまざまな県の取り組みに反映させることが、議員の最も重要な役割です。

これまでの論戦について、前号(平成29年1月20日発行)から4回にわたり、各議員が行った質疑の一部を抜粋して紹介しています。今号では、2期10人の議員が行った質疑を掲載します。なお、質疑の全文やこのほかの質疑、前号の紙面は、県議会ホームページや議会図書室で閲覧できます。

※ 県議会ホームページは「石川県議会」と検索してください。
スマートフォンやタブレット型端末でもご利用いただけます。



会派名

自由民主党:自由民主党石川県議会議員協議会
未来石川:未来石川議員会
公明党:公明党
日本共産党:日本共産党

< 議員は別期、年齢順に並んでいます。 >

本吉 浄与

もとよし きよと

2期 未来石川



多子世帯への支援策について

Q これまでの多子世帯への支援策と、第2子・第3子を安心して生み育ててもらうため、今後どのような施策を進めていくのか聞く。

A 全国に先駆けてプレミアム・パスポート事業を行ってきたほか、第3子以降の保育料無料化や、第2子以降の不妊治療に対する支援等を行っている。今後、第2子の保育料無料化に向けた検討も進めていく。

Q サイクリング環境の整備方針を策定することだが、考え方を聞く。

A 利用者ニーズ等を踏まえ、本県の魅力を堪能できるルート設定や、民間事業者も含めたサポート体制等のおもてなしの取り組みなどを定めた整備方針としたい。

佐藤 正幸

さとう まさゆき

2期 日本共産党



森本・富樫断層による地震対応について

Q 森本・富樫断層帯による地震を想定した抜本的な対策が必要と考えるがどうか。

A 地域防災計画において注意が必要な活断層の一つとして捉え、地震への備えは以前から着実に実施している。今後ともハード、ソフトの両面から減災・防災対策に取り組む。

Q 全国保険医団体連合会が行った調査で、本県では約3割の医師・歯科医師が経済的な理由による治療中断があったと答えているが、この実態をどう認識しているのか。

A 全ての方々が必要な医療を受けられる機会を確保することは大切である。法令に基づく減免制度や高額療養費制度が設けられているほか、無料低額診療事業も行われている。

善田 善彦

ぜんだ よしひこ

2期 自由民主党



小学校における副担任の配置について

Q 小学校における副担任の配置の意義や現状、その成果について聞く。

A 新採教員に対して一人ずつベテラン教員を副担任として充て、アドバイスや支援を行っている。保護者や学校からも安心できる、児童が落ち着いて学校生活を送ることができるの声を聞いており、成果があらわれてきていると考えている。

Q トキの一般公開を機に、いしかわ動物園の更なる魅力発信や誘客促進に取り組むべきと思うがどうか。

A 新たに大きな魅力が加わり、県内外から多くの方の来園が期待できることから、道の駅でのポスター掲出や旅行雑誌への掲載など、一層のPRに努め、入園者の増加につなげていきたい。

徳野 光春

とくの みつはる

2期 自由民主党



金沢外環状道路の整備状況等について

Q 金沢外環状道路海側幹線IV期区間の現在の整備状況及び今後の見通しを聞く。

A 県では北陸鉄道浅野川線及び浅野川にかかる大規模な橋梁下部工事や地盤改良工事を進めている。この区間は地盤が軟弱なため沈下や液状化への対策が必要となるほか、多くの部分が橋梁となり整備に時間を要するが、金沢市と密に連携を図り、一日も早い供用を目指す。

Q ストーカー被害の相談があった場合、被害者の安全をどのように図っているのか。

A 危険性、切迫性を的確に判断し、被害者の安全な場所への避難・保護や、自治体、関係機関等とも連携し、被害の未然防止、拡大防止を最優先に考えて対応している。

平蔵 豊志

へいぞう とよし

2期 自由民主党



消防防災ヘリについて

Q 現在、ドクターヘリを補っているのが消防防災ヘリだが、近年どのような運航実績となっているか。

A 平成27年度の運航実績は185件、そのうち救急救助等に関する緊急運航が42件、災害の予防や訓練等の活動が135件となっている。

Q 能登北部地域から消防防災ヘリを要請する場合、救急救命士が現場から出動要請することができることになっているが、実際の運用はどうか。

A 多くは、患者を一旦地域の病院に搬送する中で、救急救命士とかかりつけ医が連携し、消防防災ヘリを要請している。

不破 大仁

ふわ ひろひと

2期 自由民主党



身体障害者補助犬の給付事業について

Q 現行の盲導犬や聴導犬に加え、介助犬も身体障害者補助犬の給付事業の対象とすべきと思うがどうか。

A 聴覚に障害のある方から要望があったことから、今年度新たに聴導犬についても給付対象としたところである。肢体に障害のある方を対象とした介助犬についても、要望があれば適切に対応していきたいと考えている。

Q 新県立図書館・金沢美大へのアクセス道路の整備スケジュールの見通しを聞く。

A これから整備に向けた調査に着手する段階であり、関係部局と連携、調整を図るとともに地元の方々の御理解、御協力をいただきながら着実に進めたいと考えている。

安居 知世

やすい ともよ

2期 自由民主党



性暴力被害者支援センターについて

Q 国は各都道府県に最低1カ所、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターを設置するという目標を設定したが、本県でもセンターを設置してはどうか。

A 被害者が安心して相談でき、心身の早期回復に向けて必要な支援を受けることができる体制の整備が求められており、本県にふさわしいセンターのあり方について検討していきたい。

Q 家族県政学習バスや地域県政学習バスを、より多くの方が利用できるよう、土日も運行してはどうか。

A 現在は女性団体と個人を対象に実施している土日の運行枠を家族県政学習バスや地域県政学習バスとしても利用できるよう対応したい。

焼田 宏明

やけだ ひろあき

2期 自由民主党



国道8号の県境整備促進について

Q 国道8号新倶利伽羅トンネル、津幡北バイパス等の4車線化事業について、早期着手と完成に向けての所見を聞く。

A 津幡北バイパスから富山県につながる区間は交通量が増加しており、新たなトンネルの早期工事着手に加え、早期の4車線化について、国に対し強く働きかけをしていく。

Q 銃猟免許保持者は高齢化等により減少傾向にあるが、現状・課題と今後の対策を聞く。

A 銃猟免許保持者は60代以上が約6割を占めているため、狩猟の魅力発信セミナーや、捕獲技術習得研修を開催する等、狩猟者の確保と育成に取り組み、地域の捕獲の担い手として活躍できるよう支援していく。

増江 啓

ますえ けい

2期 公明党



金沢港の整備について

Q 金沢港におけるクルーズ需要をどう受け止め、今後の整備構想をどのように思い描いているのか。

A 船会社や旅行会社からも高い評価をいただいております。2017年の寄港数も大幅に増える見込みである。まずは基本的なインフラ整備を優先し、さらなる活性化を図るための整備を怠ることなく行う。

Q 壮猶館を歴史遺産として多くの県民に知ってもらうよう努めてはどうか。

A 壮猶館は日本で初めて軍楽を教科として教えたという可能性があり、また近代科学の発展に貢献した多くの人材を輩出してきた貴重な歴史的遺産であることは間違いなく、今後はさまざまな機会を捉えて広く発信する。

山口 彦衛

やまぐち ひこえ

2期 自由民主党



のと鉄道廃線後の不用構造物撤去について

Q のと鉄道廃線後も撤去されず放置されている橋梁が多いと聞きますが、整理状況と安全上問題ないか聞く。

A 危険性のある橋梁は撤去を進め、残る38カ所は交通量が極めて少ない等の理由から撤去不要とされ、侵入防止柵の設置など安全対策を講じている。

Q 地方創生の基盤となるインフラ整備はタイミングが重要だが、奥能登の道路整備を今後どのように進めていくのか。

A 人とのものの交流を盛んにする幹線道路から、地域の安全・安心の確保に必要な生活道路に至るまで、時機を逸することなく着実に整備を進め、奥能登地域の活性化にこれからもしっかりと取り組む。

特別委員会 2016年度活動レポート

特定の事項について専門的に調査する必要がある場合に設置される特別委員会。
県議会では2015年度から下記の3特別委員会を設置しています。
各特別委員会の活動をレポートします。

行財政改革特別委員会



指定管理者が運営する施設（びわ湖ホール）を調査

県民本位の行政サービスへ 行政経営プログラムなどを審査

行財政改革特別委員会では、県の財政状況や行政経営プログラムの取り組みなどについて審査を重ねました。行政経営プログラムでは、道路空間の有効活用を取り上げ、のと里山海道サービスエリアでの取り組みや金沢外環状道路海側幹線にある県有地の利活用についていただきました。

また、金沢駅のすぐそばにあり、新幹線開業効果が現れやすい県立音楽堂の利用者数の増加に向けた取り組みについて聞くなど、指定管理者が管理する公の施設の運営についても議論。より県民本位の行政サービスの提供に全力を挙げて取り組むよう、強く求めました。

地方創生・新幹線対策特別委員会



地方創生に関連した事業の取り組みを調査
(道の駅うつのみや ろまんちっく村)

企業誘致による雇用の場の創出や出会い・結婚支援、 新幹線開業効果の持続と波及で地域に活力を

地方創生・新幹線対策特別委員会では、北陸新幹線開業効果や人口減少対策、新幹線の整備などを主要なテーマとして議論しています。2016年度は、若者の働く場となる企業誘致や、出会い・結婚の仲介役となる「縁結びist」の利用希望者増加に向けた取り組みなどについてただし、県は現在の状況と継続した事業の展開など前向きな姿勢を示しました。

また、北陸新幹線金沢開業から2年、その効果を持続・波及させていくための事業についても活発な質疑を展開。今後の早期の敦賀開業・全線開業に向けた積極的な対応を求めました。

防災・安全対策特別委員会



熊本地震に係る被害状況について調査（熊本城）

防災対策をはじめ さまざまな視点で「安全・安心」を議論

防災や県民生活の安全・安心、志賀原子力発電所などに関して議論するのが、防災・安全対策特別委員会です。中でも、昨年4月に発生した熊本地震に関連し、防災対策については重点的に審議。県からは、熊本地震を教訓に地域防災計画の再点検を図ることや、重要文化財等の耐震対策の実情の説明などがありました。

このほか、白山の登山届の提出義務化やのと里山海道におけるドライバーへの注意喚起、糸魚川大火を教訓とした消防体制の強化など、安全・安心な地域づくりについてさまざまな視点で議論を深めました。

県議会の活動を伝える広報紙

県議会
第20号 **だより**

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)
平成29年3月31日発行

県議会の傍聴や見学ができます!

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索

県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

gikai@pref.ishikawa.lg.jp